

講演要旨

『古くて新しい資源「海洋深層水」高度利用 ～沖縄県久米島から～』

低温で清浄、無機栄養塩を豊富に含む海洋深層水の利用は 1970 年代から行われていますが、近年、仏領ポリネシアやインドなど、海外での活用事例が増えてきています。また、日本最大の海洋深層水取水地である沖縄県久米島では、旺盛な産業需要に応えるため、現在、大規模な取配水施設建設のための計画業務が進んでいます。

世界的に重要度が高まっている気候変動対策・適応や持続可能な社会の実現を背景として、国内外ではどのような形の利用が進んでいるのでしょうか？
久米島での具体的な実績や計画を中心に、最新動向をご紹介します。